

駐在員だより「ランシング・コミュニティ・カレッジと庭園」

ミシガン州ランシング市はミシガン州の州都で、ランシング市のミシガン州議事堂周辺にはミシガン州政府関係機関が集まっており、スナイダー知事のオフィスや、駐在員が勤務するミシガン州教育局もその一角にあります。この州政府機関の建物の近くにランシング・コミュニティ・カレッジ（以下「LCC」といいます。）という短期大学があります。この大学は、実は滋賀県となじみが深く、非常に良い関係を築いています。

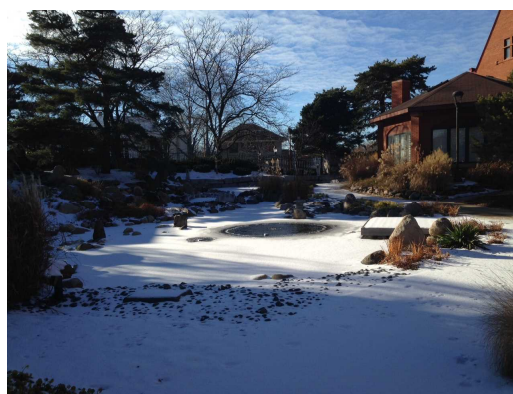
LCC の事業の一つにジャパン・エクスペリエンスという事業があります。LCC の学生が滋賀県大津市浜大津にあるミシガンハウスというところに滞在しながら、琵琶湖で運航されているミシガン号に乗船し、そこで勤労体験をするというものです。そこで、LCC の学生は、働きながら日本語、日本文化を学んでいます。これには琵琶湖汽船(株)様の協力があって初めて実現しているプログラムです。

きっかけは、昭和 56 年（1981 年）、当時の琵琶湖汽船(株)、琵琶湖ホテルの社長であった重松徳（しげまつめぐみ）さんのミシガン訪問です。重松さんは、アメリカ人大学生が日本で、働きながら学習できるプログラムを作りたいということで、LCC を訪問し、LCC 側も国際関係に関心があったことから、重松さんと当時の LCC 学長であったフィリップ・ギャノンさんがそのプログラムを作りあげ、LCC が学生を日本に送ることが始まりでした。ミシガン州教育局内にも LCC から滋賀県に行ってミシガンボートに乗っていたよ、という職員がいます。

また LCC には重松記念ガーデンという庭があります。ミシガンボート事業の 25 周年を記念して、事業の創始者である重松徳さんの貢献を記念して造園されました。重松記念ガーデンには、琵琶湖を模した形の池があり、周囲には滋賀県の風景がちりばめられています。



平成 27 年 6 月、三日月知事も訪問



冬期は雪のため閉鎖